

# S:



## 流行には敏感に！

CASE

基礎疾患のない20代男性が発熱、皮疹を主訴に鹿の門病院を受診した。

12月9日に発熱、頭痛、関節痛が、12月12日に咽頭痛が出現した。自宅で様子をみていたが、12月13日になって顔、体幹に皮疹が出ていることに気づき心配になって受診した。



デングッ！ もはやこれはデングしかありえないッ！ 先生、早くデング熱の迅速検査をさせてくださいッ！



落ち着け、上村！ まだ渡航歴も聞いてないだろう！



だって発熱、頭痛、関節痛の症状で始まって、後から皮疹が出てくるなんてデング熱しかないですよ。





上村……おまえ、いい感じに視野が狭くなってきてるな……。もう少し鑑別疾患を考えながら診断を進めていくクセをつけような……。


流行には敏感に！


既往歴やアレルギーは特にない。職業は会社員である。12月2～7日までタヒチのボラボラ島に妻と観光旅行に行っていた。現地で特殊な活動はしておらず、海を見ながらのんびりしていた。同行した妻は元気になっているという。宿泊は清潔なホテルであり、食事もすべてホテルで摂っていたという。火の通っていない肉類、生水、サラダやカットフルーツは摂取していない。現地での性交渉は妻とだけであった。防蚊対策は特にしていなかった。

 うむ。だいぶ渡航歴の聴取が上手くなったね。

 でしょ〜。でもやっぱり渡航歴がありましたね。さすが『輸入感染症 A to Z』ですね。

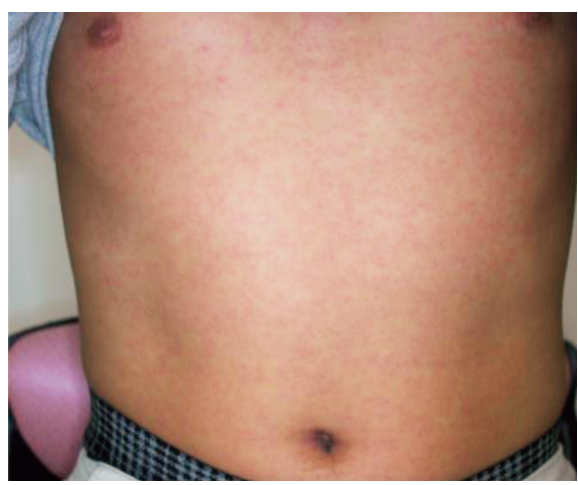
 まあ輸入感染症のメッカ、鹿の門病院の症例だからね。読者の皆さまにはその辺のバイアスを考えて本書をお読みいただきたいと思います……。

 輸入感染症だとすると、潜伏期は2〜7日ですね。渡航地はポリネシアですので Fit for Travel をみるとやはりデング熱が流行しているようです。その他には発熱疾患として A 型肝炎や腸チフスなども鑑別疾患として挙げられますが、潜伏期が合わないのので否定的ですね。防蚊対策が不十分であったことも含めて考えると、デング熱の可能性が高そうです。

 まあ、そうかな。じゃあ診察してみよう。

外観は全身状態良好であった。バイタルサインは体温 37.2℃、脈拍数 75/min、血圧 119/69 mmHg、SpO<sub>2</sub> 97% (RA)。両側の眼球結膜充血がある。両後頸部リンパ節の腫脹・圧痛あり、顔面と体幹に一部癒合し浸潤を触れない紅斑を認めた (図S-1)。その他、特記すべき異常所見はなかった。

図S-1 本症例でみられた体幹の紅斑





皮疹はデング熱でもみられるような癒合傾向のある紅斑ですが、熱は微熱ですね。経過中もずっとこれくらいの微熱が続いていたそうです。



そうするとデング熱っぽくないんじゃないか？



でも、それ以外の臨床症状や身体所見はデング熱に矛盾しませんッ！熱が高くなならないデング熱だってありえるんじゃないですか！？



いったい何がおまえをそこまでデング熱に駆り立ててるんだよ……。

血液検査: WBC  $3.310/\mu\text{L}$ , RBC  $488 \times 10^4/\mu\text{L}$ , Hb 14.0 g/dL, Hct 41.5%, Plt  $14.9 \times 10^4/\mu\text{L}$ , CRP 0.48 mg/dL, TP 7.6 g/dL, Alb 4.2 g/dL, AST 21 IU/L, ALT 15 IU/L, LDH 207 IU/L,  $\gamma$ -GTP 20 IU/L, ALP 189 IU/L, T-bil 0.6 mg/dL



フッフッフ……白血球も低い、血小板も下がっている、そしてCRPがあまり上がっていないッ！ いわゆる「デング三原則」を満たしますッ！



何がいわゆる「デング三原則」だよ。勝手にそんな原則を作るんじゃない！ でも確かに渡航歴からも、この血液検査結果からも、デング熱っぽいね。



フッフッフ……ついに先生も認めましたか。



まあデング熱の可能性は高いのかもしれないけど、基本に立ち返ってプロブレムリストと鑑別疾患を考えてみよう。



(え～、もうデング熱って決まってるや～ん) はい……ではプロブレムリストを挙げます。

#### 〈プロブレムリスト〉

- #1 ボラボラ島から帰国後の発熱 (潜伏期 2～7 日)
- #2 不十分な防蚊対策
- #3 全身に分布する一部癒合し浸潤を触れない紅斑
- #4 両側眼球結膜充血

#5 頭痛, 咽頭痛, 関節痛

#6 後頸部リンパ節腫脹

#7 白血球および血小板減少

### 〈鑑別疾患〉

- デング熱
- チクングニア熱
- リケッチア症
- 風疹 / 麻疹



デング熱だとは思いますが、一応常にデング熱との鑑別が問題になるチクングニア熱を挙げました。しかしながらボラボラ島でのチクングニア熱の報告は見つけられませんでした（※この症例の時点では報告はありませんでしたが、2014年12月現在チクングニア熱がタヒチでアウトブレイクしています）。加えて、いわゆる fever & rash の鑑別としてリケッチア症と風疹・麻疹を挙げました。しかし、リケッチア症についてはダニの曝露が明らかではなく、風疹・麻疹についても気道症状に乏しい点から否定的と考えます。



なるほど……あくまでデング推しだな。じゃあプランはどうする？



全身状態もよいので、デング熱、チクングニア熱の検査を国立感染症研究所に依頼して経過観察でもよいかとは思いますが、患者さんの希望があるのでデング熱迅速検査を行いたいと思います。まず間違いなく陽性になるとは思いますけど。

デング熱迅速検査：NS1（-）、IgM（-）、IgG（-）



い、陰性だとおおお！（白目）ありえないッ！  
ありえないんだあッ！



落ち着け、上村！



デング熱じゃなかったら、もう何だかわからないっす！



おまえホントにデング熱しか考えてなかったんだな……。まあ迅速診断キットの感度は高いとは言われているけど100%じゃないからな。まだデング熱の可能性が完全に否定されたわけじゃない。



そうか……。スラムダンクでいうところの「まだ慌てるような時間じゃない」ということですね！



まあ、デング熱の可能性がかなり下がったのは間違いないけどな。他の鑑別疾患も考えて診断を進めないとなあ。



やっぱりそうですよねえ……。でもボラボラ島でいったい何が起きているんだ！ うおおおおボラボラボラボラボラボラボラボラボラボラレー・ヴィーア！



(無視して) あ、そういえば確かボラボラ島で今大流行している感染症があった気がしたんだよな……。何だったかな。



えっ？ デング熱じゃなくてですか？



まあデング熱も流行ってるんだけど、それ以上に流行ってる感染症があるんだよ。CDC Travelers' Health の Travel Notices **図S-2** っていうところを開いてみようか。



はい。



ジカ熱……。聞いたことないんですけど！ このジカ熱がタヒチで流行ってるってことですか。



そうそう。こないだ ProMED でそんな投稿があったんだよ。かなりの感染者が出てるって。



ProMED って確か「C: 渡航地はどこだ」(p.12～)に出ってきた、世界中の感染症の発生流行に関する最新情報が集まるメーリングリストでしたっけ？ 先生、そんなのまでチェックしてるなんてヒマなんですわねえ……。